

## 令和5年度介護施設等防災リーダー養成研修事業経過と実施結果

### 1 プログラム作成

#### (1) 事業開始日

7月19日

#### (2) プログラム構成

県内介護施設等職員が、介護施設等がどのような被害を生じるかを学び、その対策として何が必要かを考えられる研修内容とするため、表1のとおり講演・事例紹介・机上演習・トピックスに分類し、講義内容を策定した。

(表1:講義内容) 各回講師スケジュールにより順序が異なるが内容は同一

大項目	講義内容
講演	愛知県における災害史と医療体制 (講義1)
	南海トラフ地震と激甚気象災害はいつ来るのか (講義2)
	災害時における情報共有システム (講義4)
	間接死と介護施設等への外部支援 (講義5)
	介護施設求められる災害対応事前計画 (講義6)
事例紹介	台風10号における岩手県岩泉町特別養護老人ホームでの被害と対応 (講義8) ※①
	台風19号(2019年)千曲川氾濫 介護施設の被害と復旧 (講義8) ※②
机上演習	介護施設等における災害対応のあり方 ～初動行動～ (講義3・机上演習)
	南海トラフ地震臨時情報と気象災害におけるフェーズに基づく対策 (講義7・机上演習)
	介護施設等における災害対応のあり方 ～トリアージ・搬送～ (講義9・机上演習)

※事例紹介は蒲郡・日赤会場にて①を実施 web開催は②を実施

#### (3) 机上演習

受講者自らが能動的に学習することを目的とし、特養系・老健系・有料老人ホーム系・GH系・通所系等、受講者所属施設形態に準じたグループ編成とし、グループ内に施設図面・職員・利用者人形等を利用し、初動行動、トリアージ、搬送等についてファシリテーターの誘導のもとグループ内討議をすることとした。

## 2 開催場所・日程調整

### (1) 事業開始日

8月1日

### (2) 開催場所・日程

研修参加者の居住地域を考慮し、受講対象を尾張・三河・県全域の地域割りをを行い、表2のとおり同一地域での連続開催が可能な場所・日程とした。

第5回・第6回にあつては、令和6年1月に発生した能登半島地震に対し、講師・ファシリテーターが対応していること、また、愛知県内の介護施設等に被災者受け入れが依頼されていることを鑑み延期とし、参加希望者に対して2月28日(水)にZoomにて合同web開催とした。

(表2:開催場所・日程)

実施日		時 間	対象地域	実施場所
第1回	令和5年10月3日(火)	9:30~16:30	三河地区	蒲郡商工会議所
第2回	令和5年10月4日(水)			
第3回	令和5年12月5日(火)	9:30~16:30	東尾張ほか 県全域	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院
第4回	令和5年12月6日(水)			
第5回	令和6年1月18日(木)	9:30~16:30	西尾張地区	津島市文化会館 ※能登半島地震の災害対応により延期
第6回	令和6年1月19日(金)			
第5・6回 合同 web	令和6年2月28日(水)	9:30~16:30	第5回6回の 受講申込者	愛知医科大学(web開催)

## 3 講師選定

### (1) 事業開始日

8月1日

### (2) 講義担当講師

講義担当講師は国内で著名な災害医療専従者、被災経験をした施設担当者の10名とし、講演方法は会場参加の「現地講演」、webでの「web講演」、講演内容を収録した「録画講演」とし、各講師の担当講義と方法は表3のとおりとした。

(表3:講師担当講義と方法)

氏名	所属・役職	担当講義	第1回	第2回	第3回	第4回	合同web
北川 喜己	名古屋掖済会病院院長	1	現地	録画	録画	録画	録画
津田 雅庸	愛知医科大学 災害医療研究センター長	2	現地	現地	現地	現地	現地
稲田 眞治	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院救急科部長	3	現地	-	現地	現地	-
高橋 礼子	愛知医科大学 災害医療研究センター講師	3・9	現地	現地	現地	現地	web
千島佳也子	国立病院機構本部 DMAT 事務局	5	現地	現地	-	-	-
中野めぐみ	国立病院機構浜田医療センター 医療社会事業専門員	5	-	-	現地	現地	web
掛川千恵子	社会福祉法人恩賜財団済生会 北上済生会病院	8	現地	現地	現地	現地	-
松村 隆	長野県社会福祉協議会 (元賛育会豊野事業所)	8	-	-	-	-	web
小澤 和弘	愛知医科大学 災害医療研究センター講師	4・6・7	現地	現地	現地	現地	現地
花木 芳洋	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院副院長	9	web	現地	web	現地	-

## (3) 机上演習担当ファシリテーター

机上演習におけるファシリテーターは、表4のとおり愛知県、静岡県、三重県等の災害医療研修従事者15名の参加協力により、机上演習各グループのファシリテートを行った。

(表4:ファシリテーター一覧)

氏名	所属	職種	第1回	第2回	第3回	第4回	合同web
神原 淳一	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院	医師	-	-	特養系	特養系	老健系
川谷 陽子	愛知医科大学病院	看護師	-	-	通所系	-	-
倉島 正成	豊橋市民病院	看護師	特養系	老健系	老人H	老人H	老人H(web)

日高 友里	公立西知多総合病院	看護師	老健系	特養系	特養系	-	-	-
立松 美穂	名古屋医療センター	看護師	-	-	老人H	老健系	-	-
和泉 邦彦	藤田医科大学医学部	薬剤師	通所系	通所系	-	-	-	-
丹羽 一晃	名古屋掖済会病院	救急救命士	老人H	老人H	老人H	-	-	GH系 (web)
太田 雅博	名古屋掖済会病院	事務職	GH系	GH系	-	通所系	-	-
石黒 秀典	JA 愛知厚生連 江南厚生病院	事務職	老人H	老人H	GH系	老人H	特養系	-
三羽 洋人	一宮市立市民病院	事務職	-	-	-	老健系	-	-
高橋 善明	浜松医科大学医学部附属病院	医師	老健系	特養系	-	-	-	-
鈴木紗矢佳	静岡県立総合病院	看護師	GH系	GH系	-	-	-	-
高橋美千子	磐田市立総合病院	看護師	-	-	-	特養系	-	-
加藤 真嗣	浜松医科大学医学部附属病院	事務職	特養系	老健系	GH系	GH系	-	-
向井 慎治	三重県厚生連松阪中央総合病院	臨床工学技士	GH系	-	老人H	-	-	-

#### (4) 昨年度受講者（机上演習担当ファシリテーターサポーター）

机上演習におけるファシリテーターとは別に、昨年度受講者に対し、本年度研修スケジュールをメールにて案内し、電子媒体（フォームメーカー）による回答で募集を図った。

愛知県内の介護施設から延4名の応募（うち1名は病欠）参加協力により、自施設の形態と同一のグループに配置し机上演習においてファシリテーターのサポートを行った。

（表5：昨年度受講者（机上演習担当ファシリテーターサポーター）一覧）

氏名	所属	職種	第1回	第2回	第3回	第4回	合同web
塚本 喬	グループホームむらさき麦の郷	施設管理者	-	GH系	-	-	-
岡 季子	ブラザー健康保険組合 老人保健施設瑞穂	事務員	-	-	特養系	-	-
山本 悦久	社会福祉法人サン・ビジョン本部	事務員	-	-	老人H	特養系	-
浅井 真希	老人保健施設愛泉館	介護支援 専門員	-	-	(病欠)	-	-

#### 4 受講者募集

##### (1) 事業開始日

8月10日

##### (2) 募集案内作成

上記の1プログラム作成、2開催場所・日程調整、3講師選定後、募集案内チラシ（別添1）を作成

##### (3) 募集方法

募集案内チラシを愛知県に送付し、愛知県からは中核都市、中核都市以外は県内介護保険指定施設及び指定事業に直接配付し、電子媒体(フォームメーカー)による回答で募集を図った。

##### (4) 募集時期

第1・2回、第3・4回、第5・6回開催の各1か月前に募集締切日を定めて案内をした。

##### (5) 参加案内の送付

各回参加確定応募者に対し、参加日、参加留意事項、参加者背景収集のための事前アンケートをメール送信し、参加留意事項には感染防止対策として研修1週間前からの健康状態管理を求めることを併せて案内した。

##### (6) 参加通知申込者及び受講者

申込者285名のうち、現地及びweb参加された受講者は合計220名(77.2%)であった。

第5回・第6回は、令和6年1月1日に発生した能登半島地震に伴い、研修講師等が被災地での支援活動を行っていたことから開催を延期とし、翌月第5回及び第6回の受講予定者の中から受講可能者を募り、2月28日にZoomを利用した合同web研修を行った。

(表6:各開催回別申込者数と参加者)

区分	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	合同web	合計
申込者	65	57	49	44	44	26		285
会場参加者	60	49	40	37	延期	延期		186
web参加者							34	34
キャンセル	5	8	9	7				29

## 5 研修結果

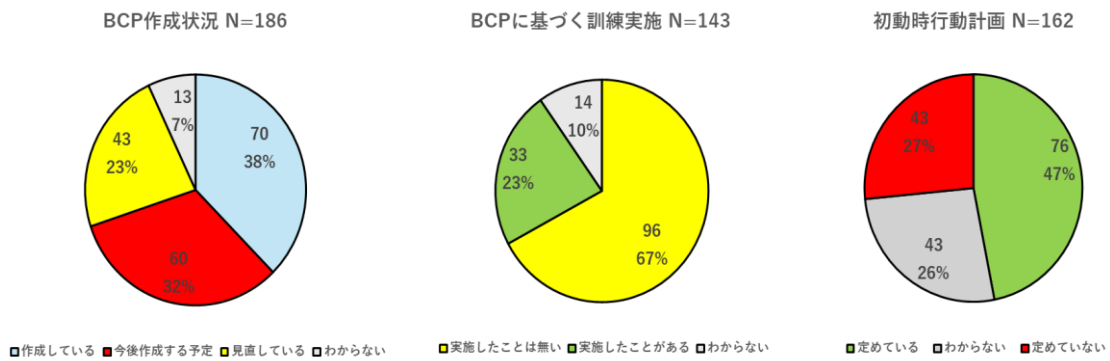
### (1) 研修内容

- 第1回・第2回研修結果 (別添2参照)
- 第3回・第4回研修結果 (別添3参照)
- 第5回・第6回合同web研修結果 (別添4参照)

### (2) 研修効果

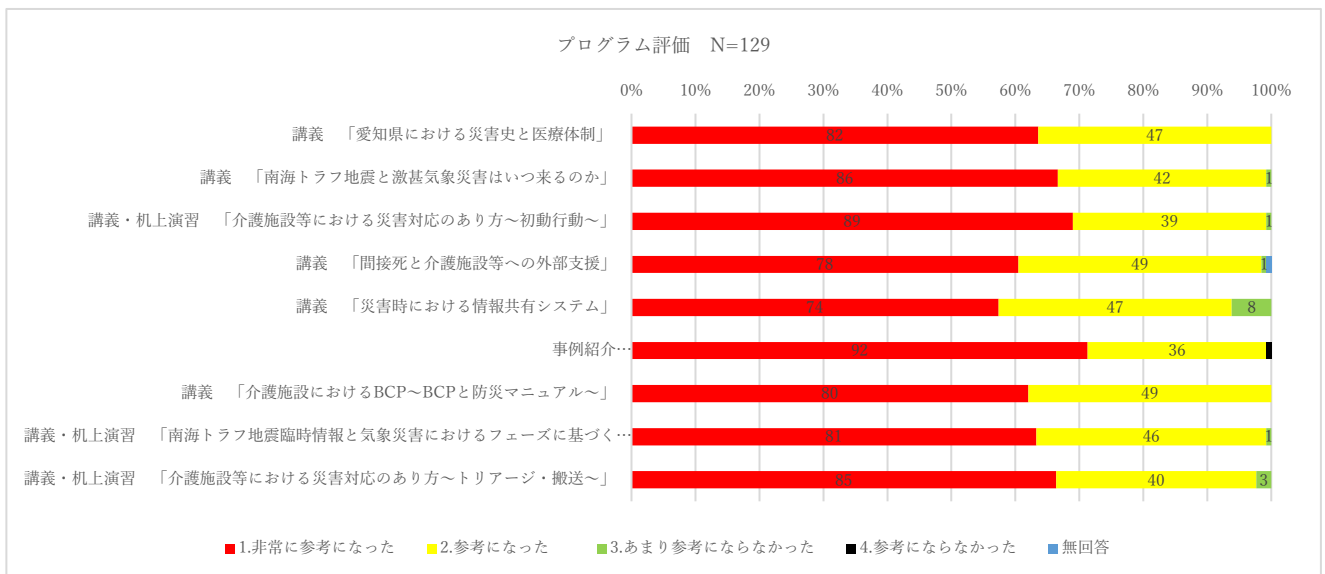
#### ① 研修前の全受講者背景

全受講者の事前アンケート結果からみれば、高齢者施設に求められている災害対応「BCP作成状況」については、昨年度に実施した同研修よりも増えているものの、「BCPに基づく訓練実施」については実施したことは無いと回答する施設が多く、発災時の「初動時行動計画」においても「定めている」としている施設は半数以下であった。



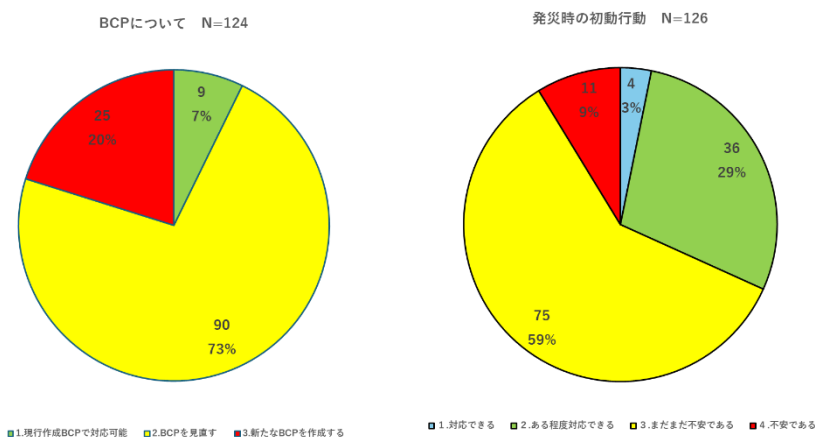
#### ② プログラム評価

すべてのプログラムが90%以上「非常に参考になった」「参考になった」と回答され、プログラム内容は一定の成果を得た。施設実災害報告であった「事例紹介」は「非常に参考になった」との回答が最も多く、机上演習も高い評価を得た。



### ③ 受講後の認識

受講者の南海トラフ地震に対する危機意識、実態に即したBCP作成の必要性の意識が高まり、作成中・作成済の施設も見直す意識となったが、現実的に行えるかの問いに関しては不安回答が多く、実際に行える方策を提示することも必要であると感じられた。



### 【総括】

能登半島地震の影響から、1月開催の対面形式開催を断念しwebに切り替えたものの、昨年度実施よりも多くの参加を記録し、プログラム内容の評価は高く、BCPの作成・見直しの必要性和事前の災害対策の意識は向上し、本受託研修は一定の成果を示したと考える。